

# 大学VLBI連携 将来計画ワークショップ

世話人：

米倉覚則、杉山孝一郎（茨城大学）

元木業人、秦和弘（NAOJ/水沢VLBI観測所）

藤澤健太、新沼浩太郎（山口大学）

# 大学VLBI連携

- 国立天文台・北海道大学・筑波大学・茨城大学・岐阜大学・大阪府立大学・山口大学・鹿児島大学が連携をして、各研究機関・大学の研究を高度に展開し、世界の中で独自の研究成果を生み出す
- 世界の中で、米国・欧州に次ぐ第3極としての研究グループを形成し、独自の研究を進めることにより我が国の研究の活性化と研究成果による人類への貢献を果たす
- 大学における教育において、世界のなかで独自の研究を展開することにより、次世代の育成を図る

# 2014年12月 WS@茨城大学 小林さんコメント

- 各大学、グループの研究計画の再定義が必要
- 研究・開発のスケジュール・マンパワー・経費の見通し
  - ケーススタディ (White paper) の必要性 ← 本WS後にWGを立ち上げ、詳細を詰めていく
- 東アジアネットワーク, ALMAも見通した研究の展開
- サイエンスは、Collaboration&Competition

# WSサーキュラー

今後5年から10年かけて大学VLBI連携としてど  
のような研究にリソースを投じていくべきか、そ  
して各大学もどのように各自のユニークな研究を  
推進していくかを議論し、見極める場にしたいと  
考えております。授業期間中の忙しい時期での開  
催で恐縮ですが是非ともご参加いただけますと幸  
いです。

# 既存及び将来の大型計画

本WSにおけるターゲット

	第3期中期計画 2016-2021	第4期中期計画 2022-2027	第5期中期計画 2028-2033	第6期中期計画 2034-2039	2040以降
大学VLBI連携	→		Shut Down or EAVNへマージ?		
VERA	→		EAVNへマージ?		
KaVA	→		EAVNへマージ?		
初期EAVN	→				
Full EAVN		→			
VLBA	→		Shut Down? or ...		
ALMA	→		→		
SKA1		→			
SKA2				→	
ngVLA				→	
			高空間分解能観測装置が手薄になる時期?		
継続プロジェクト	→				
継続予定?	- - →				
開始予定プロジェクト	→				
大型将来計画	- - →				